



### 農業農村整備事業に係る予算措置を求める意見書

我が国の農業・農村は、基幹的な労働力の6割を65歳以上の高齢農家が担う中、米価の低迷と相まって担い手不足が懸念される一方、食料自給力の向上のため、生産性の向上と水田の汎用化に資するとともに、担い手への農地利用集積に効果的な圃場整備は、未だ4割程度の未整備であり、農業用水利施設についても、今後10余年間は耐用年数に到達する施設のピークが続く状況である。

しかしながら、平成9年度には約1兆3千億円であった農業農村整備事業予算は、公共事業の削減の流れなどの中で暫減し、平成22年度予算については、極めて厳しい内容の政府原案となっている。

食料生産を支える農地基盤や水利施設の劣化・老朽化を進行するまま放置されれば、農業生産性の低下や災害・事故の多発などにより、農家の営農意欲が減退するばかりか、農業そのものが成り立たなくなる恐れがある。また、その結果は、食料自給力をさらに低下させ、国の食料安全保障をも損ねることになり、国民全体への不利益につながるものと危惧するものである。

このため、現下の農業・農村の現状を踏まえ、今後さらなる窮状が進展しないよう、次のとおり、農業農村整備事業に係る予算措置を講じるよう強く要請する。

#### 記

- 1 更新時期のピークが続いている農業用水利施設の計画的更新整備に支障のないよう、政府は所要の予算措置を講じること。
- 2 限られた国内農地資源の最大活用を図り、早急に食料自給力を向上させるため、生産性の向上と水田の汎用化に資するとともに、担い手への農地利用集積に効果的な圃場整備を国策として進めること。
- 3 農業農村整備事業の適正な執行のために、政府は、早急に平成22年度の補正予算措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月29日

提出先:内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

栃木県大田原市議会



みなさんからの

請願・陳情

#### 請願第一号

社会的セーフティネットの拡充に関する請願書

(提出者)

日本労働組合連合会  
栃木県連合会那須地域協議会

議長 成瀬 康之

(請願の趣旨)

政府は、経済危機対策により、急速に悪化する雇用失業情勢に対応し、住居を失った離職者を支援する「新たなセーフティネット」の構築に向けた予算措置を行いました。しかし、その支援策の申請窓口がそれぞれ別であるため、セーフティネットとしての機能が十分に発揮されないことが懸念されます。また、最後のセーフティネットとして「生活保護制度」は、今後も申請件数の増加が見込まれることから、国は責任を持ってその実施体制を確保すべきであると考えます。

よって、ワンストップサービスなどの総合的なセーフティネット体系の整備に関し、国や関係機関に対して意見書の提出を求めるものであります。

(審査の内容・結果)

今後の国の動向を見極め、更に調査を深めることとし、全員異議なく継続審査となりました。

#### 陳情第四号

食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める陳情

(平成二十一年十二月提出)

(提出者)

生活クラブ生活協同組合  
理事長 丸山 美佐

(請願の趣旨)

加工食品原料の産地偽装事件が繰り返される中、遺伝子組み換え食品やクローン由来食品についても安全性に不安を抱いています。消費者が知る権利に基づいて買う、買わないを自ら決めることのできる社会の実現をめざし、加工食品の原料のトレーサビリティと原料原産地の表示の義務化、すべての遺伝子組み換え食品・飼料の表示の義務化、クローン家畜由来食品の表示を義務化に関する食品表示制度の抜本改正をすることについて、意見書提出を国に求めるものであります。

(審査の内容・結果)

食品表示の現状について、現況調査も含め、更に検討を深めることとし、継続審査となりました。

## 請願・陳情はこんな方法で

- 請願（陳情）書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

### 〈 請願（陳情）書の書式例 〉

《表紙》

〇〇〇に関する  
請願（陳情）

紹介議員名  
（陳情は不要）



《内容》

1. 請願（陳情）の趣旨
2. 請願（陳情）の理由  
平成〇年〇月〇日

請願（陳情）者

住所  
氏名  
大田原市議会議長あて

